

シラバス確認

シラバス入力 > シラバス確認

印刷する

更新

開講年度 Academic year	2026年度		
講義コード Course title (Japanese)	0F3095101		
講義名 Course title(Japanese)	民法法概論		
英文講義名 Course title (English)	Introduction to Civil Law		
(副題) Course subtitle	〔法学部専門科目〕		
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester (s)	前期	講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour (s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	木曜日	時限 Period	4時限
校地 Campus	本キャンパス(駅東通り)		

所属名称	ナンバリングコード
	L1-CIL101LJ

担当教員 Lecturer (s)			
職種 (専任教員・非常勤教員) Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer (s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 川上 生馬		法律学科

授業の内容 (主題) Course description	本講義では、民法法の概要について、主に教科書を用いながら解説します。民法法の中でも特に重要となってくるのが民法です。民法は、総則、物権、債権、親族、相続からなる法律であり、私法の一般法として、重要な役割を担っています。本講義では民法を中心に学びつつ、実際に紛争になった場合の手続きを定めた民事訴訟法についても適宜解説を行います。
到達目標 Course objectives	民法法の基本概念を理解し、民法や民事訴訟法の講義を履修するための基礎力を養うことができる。

ディプロマポリシーとの関連
Accordance with diploma policy

◎ : 非常に強く関連する
○ : 強く関連する
△ : 関連する
空欄 : 該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	○
②激変する国際社会の中にあって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	

③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	○

授業計画表
Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	法とは何か？民法とは何か？	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第2回	民法上の生と死の意味と効果	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第3回	契約とは？—意思能力、行為能力—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第4回	契約をするには？—意思表示—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第5回	契約をしたとは？—契約の成立と効力—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第6回	契約内容に違反したら？—債務不履行—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第7回	購入した物は自由にできる？—物権法概論—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第8回	事故に巻き込まれたら？—不法行為概論—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第9回	時の経過が権利・義務に影響する？—時効—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第10回	法的な意味での夫婦や親子とは？—婚姻・離婚、養子縁組、親権	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第11回	家族が認知症になったら？—任意後見制度—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第12回	人が亡くなると財産や借金は？—相続、遺言—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第13回	怪しい契約に巻き込まれたら？—消費者契約法—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）
第14回	裁判はどのように行われるの？—民事裁判と民事執行—	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）

第15回	まとめ	予習：教科書該当範囲または事前配布資料を読む（60分）、教科書・資料を読んでわからなかった点をまとめ、その時点での自身の理解を整理する（60分） 復習：講義内容のまとめを行う（60分）、予習時にまとめた疑問点について答え合わせを行い、どの点の理解が足りていなかったかの整理を行う（60分）				
授業計画コメント Course outline		教科書の章立てとシラバスの並びが異なりますので、予習の際には注意してください。毎回、講義終わりに次回の予習範囲をお伝えします。				
授業の進め方 Session plan		講義形式で行います。教科書およびレジュメの両方を使用するため、毎回、教科書は必ず持参してください。				
アクティブラーニング Active learning		自主的な予習・復習はもちろんですが、講義内で取り扱った事例や判例に関する意見を考えていただき、コメントシートに記載していただくなど、アウトプットの練習も行っています。				
授業時間外の学修（予習・復習等） Preparation and review outside classroom hours		各回のシラバス内容に応じた予習（120分）・復習（120分）を行ってください。また、講義終わりに次回講義の予習の際に併せて考えてもらいたいことをお伝えしますので、予習の際にはそのことを意識しながら教材を読み込んでください。				
教科書等 Textbooks and materials						
	タイトル Title	著者名 Author (s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	民法入門ノート〔第2版〕	渡邊力編	法律文化社	2024年	3520円	9784589043184
2						
3						
4						
5						
(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions		上記教科書を購入してください。 初回講義時には教科書がなくても問題ありません。				
参考図書 Reference book(s)		初回講義時にお伝えします。				
成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria						
	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude		
評価比率% Evaluation ratio	100%	0%	0%	0%		
成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria		定期試験は穴埋め問題や正誤問題、論述を予定しています。出題形式については、試験の時期が近づいた際にあらためてご説明します。				
課題のフィードバック Feedback		コメントシートに寄せられた質問について、次回以降の講義でお答えします。				
学生へのメッセージ（履修上の心得） Message to students (class guidelines)		民法法の基礎となる科目です。教科書は事例を基に解説を行う形式のものなので、具体的なイメージを思い浮かべながら学んでいただけたらと思います。教科書とレジュメを併用する予定ですので、資料の管理をしっかりと行ってください。また、適宜、練習問題を出题することがありますので、授業時間外に解いてきてください。				
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites		民法科目の中の入門レベルの講義となります。今後、民法を学んでいく基礎作りを目指します。				
オフィスアワー/学生からの連絡方法 Office hours/Contact Information		研究室に訪問しての質問対応については、事前にメールにて日程調整を行って実施します。講義の前後に講義室で日程調整を行うことも可能です。また、短時間で解決する質問に関しては、講義前後に講義室で受け付けます。				
キーワード Keyword(s)		民法法概論 民法 財産法 家族法				

